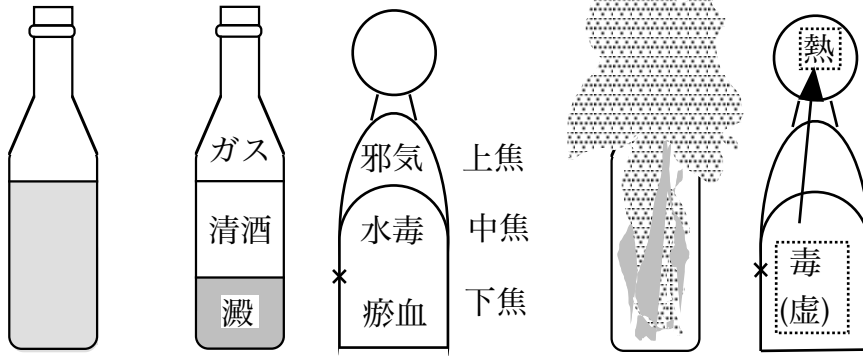


(1) 体は自然 ① 未病と発作 3. 発作現象のどぶろくモデル

表位：肩胛骨・鎖骨から上
上焦：表位より下で横隔膜まで
中焦：横隔膜からヘソまで
上焦：ヘソから下



気血水病証

体の横輪切り

体の内側の病証
を見るのにむく

腹の毒(虚)から
頭へ
邪気が衝き上げる
(急性期に顕著)

(c.f.漢方古方派)
(吉益東洞など)

①造りたて
酒全体が
濁っている

②静かに置いておく
重さで三層に分化
c.f.病が静のとき

③栓を抜く
泡となって噴く
c.f.病が動のとき

余談：『傷寒論』の太陽病：上気道感染症

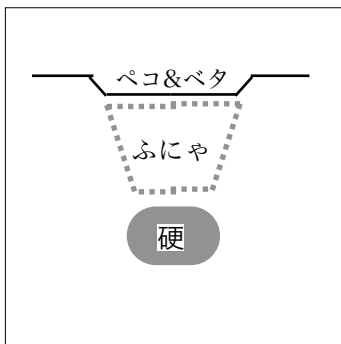
中風：普通のカゼ

傷寒：新型インフルエンザやSARS

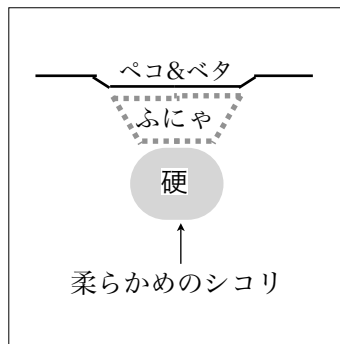
・・・のような気がする

(1) 体は自然 ② ツボの形 手でツボが取れ、反応がわかるように

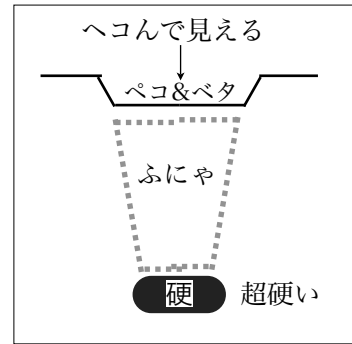
(1) ツボの形の基本形



(2) 実のツボ (新しい)



(3) 虚のツボ (古い)



筋肉：正常なら自在に緊張弛緩するが、疲れると機能性病変(過弛緩,過緊張)になる

硬：疲れて硬く縮んだまま(過緊張)になった部分

ふにや：もっと疲れて弛緩したまま緊張できなくなった(過弛緩)になった部分